

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	植物学 [Botany]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	710007	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	山口 雅篤			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP3(1)		
授業概要	<p>農学を学ぶ上で必要な植物学の基礎知識や概念の習得を目的として、まず、植物の系統、分類、形態などについて概説し、次に、植物の生理、生態、遺伝などの特徴および代表的な有用植物についての形態、成分、利用などについて解説します【知識・理解の育成】。また、植物の多様性や進化に大きく関与する藻類や微生物についても独立栄養と従属栄養の観点から言及します。さらに、植物学全般における最近の知見を網羅的に解説します。</p>						
関連する科目	植物生理学、植物生態学も履修することが望ましいです。						
授業の進め方と方法	<p>授業で配付する資料を多くの学生に参加して読み上げていただき、資料に関連する項目について、講義中に質疑応答を取り入れて行きます。授業計画の各回毎に授業の項目の意義や重要性を確認します。資料として教材に用いる写真や図は、出来るだけパワーポイントを用いて解説します。</p>						
授業計画	<p>第1回 植物の分類と学名 第2回 植物の多様性と進化 第3回 植物の体制 第4回 植物の構造 細胞組織 第5回 植物の構造 器官 第6回 植物の構造 光合成器官 第7回 遺伝子の働き 第8回 植物の成長 第9回 植物の生理 第10回 植物ホルモンの作用様式 第11回 環境と植物 第12回 植物の物質代謝 養分の吸収 第13回 植物の物質代謝 生合成 第14回 植物の利用 第15回 まとめ</p>						
授業の到達目標	<p>植物が関与する基礎的な概念や地球環境における植物の意義を理解することが目標です。また、植物が、我々の生活にどのように関わっているかに関心をもつことがテーマです。</p>						
授業時間外の学修	<p>【予習】 ・あらかじめ次回の授業項目を伝えますので、各自で参考書等を活用して約30分の予習を行って下さい。 【復習】 ・ノート、資料、参考書等を参考にして約1時間の復習を行って下さい。 ・講義後に復習として時々小課題を課します。 ・不明な点についてはオフィスアワーを活用して担当教員に質問して下さい。</p>						
課題に対するフィードバック	与えた課題については、講義の前に前回の課題の解答を行って、講義の中に関連付けて取り入れていきます。	評価方法	2 課題のレポートを課し、100点満点で評価します。課題名は最後の講義の際に知らせます。				
テキスト	なし(必要に応じて適宜、参考資料としてプリントを配布します)						
参考書	新しい植物科学 神阪成一郎著、培風館(2010) 植物生理生化学入門、佐藤満彦著、恒星社厚生閣(2002) 植物栄養学、森 ?著、文永堂出版(2004)						
備考							